

---

# きれい過ぎた

山羊ノ宮

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

きれい過ぎた

### 【Nコード】

N1044P

### 【作者名】

山羊ノ宮

### 【あらすじ】

その丘には公園があつて、そこから見える夜景は素敵で、よく僕は彼女とここへきて夜景を見ていたんだ。

その丘には公園があつて、そこから見える夜景は素敵で、よく僕は彼女とここへきて夜景を見ていたんだ。

その公園には大きな檜<sup>かし</sup>だか楠<sup>くす</sup>だかの木がある。

残念ながら、あまり僕は木の種類について詳しくない。

でも、だからと言って日常生活には何ら影響が無いので、別に本当はそんなこと知らなくても良いのかもしれない。

その日も僕はその木を背もたれにして、座っていた。

ごつごつして決して居心地がいいとは言えないけれど、それでもそこが僕らにとって特等席なのは昔も今も変わりはない。

「ねえ、きれいな空だね」

他愛も無い会話の中で彼女はそう言つて夜空を見上げる。

僕は僕のコートの中で暖を取る彼女の柔らかな体を抱きしめる。

「うん。そうだね」

そして、僕は空なんて見上げずに彼女の柔らかな髪の中に顔をうずめた。

細く甘い香りのする彼女の髪は触れていて気持ちがいい。

少し前だったかな？

もしかしたらおいしいかもって思つて、食べるふりをしたら、彼女にすごく怒られた。

おいしそつだつて、理由を言つたらもつと怒られた。

褒めてるつもりなのに何で怒られるんだろ？

まずそうよりずつといいと思つただけれど。

彼女の感性がよく分からない。

「いい匂い」

彼女の耳元に囁く。

「何かその言い方やらしい」

別にそんなつもりはなかったのだけど、そう言われてみればそう感

じないでもない。

実は僕はいやらしいのか？

否定はできないけれど。

それから彼女はもぞもぞと動くので、僕はコートのボタンを外して彼女を解放した。

「冷えてきたから、もうそろそろ帰ろっか？」

「そうだね」

吐く息はまだ白くはならないけれど、それでもずっと外にいるには寒い季節になって来た。

彼女はお尻をはたき、僕がぐしゃぐしゃにした髪を整えて、帰り支度をしている。

そして、僕はコートのボタンを留めながら、空を見上げた。

「あのさ・・・」

「何？」

彼女は呼ばれて僕を振り返るが、僕はまだ空を見上げたままだった。冬が近くなって空気が澄んできている。

街の明かりが邪魔をして、満天の星空とはいかないけれど、けれどもいつもより星が多く見える気がする。

今までずっと人の営みの明かりを楽しんでいたけれど、そんな明かりがあるずっと前からこの星達は輝いていたんだ。

改めて気が付く。

ずっとそこにあっただのに。

そして、僕は呟いたんだ。

「愛している」

「・・・ありがとう」

恥ずかしいのか、照れくさいのか彼女の言葉はそっけなくて、無愛想だった。

すたすたと家路を急ぐ彼女の後を僕は慌ててついて行く。

そんな態度を取られると僕だってどんどんと恥ずかしくなっていく。普段僕がそんな事を口にする人間じゃないって分かっているくせに。

ただその時は・・・

そうだな、理由があるとすれば・・・

そう、ただ見上げた月がきれい過ぎたんだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1044p/>

---

きれい過ぎた

2010年11月24日02時46分発行